

広域基盤整備管理計画調査（公共）

【1, 152（974）百万円】

対策のポイント

大規模かつ優良な農業地域において基幹的農業水利施設の戦略的な保全管理と機能強化を推進するための調査を行います。

<背景／課題>

- ・我が国の農業競争力の強化を図るためには、農業生産の中核的な役割を果たしている優良な農業地域において、地域の農業情勢等の変化に伴い生じている国営事業等完了地区の農業用水や施設の利用等に関する課題を把握し、その対策手法を検討することが重要です。
- ・また、国土強靱化を図るためには、今後10年で耐用年数を超過する施設が全体の4割近くに増加するなど老朽化が進行している基幹的農業水利施設について、きめ細かく監視すること等により施設の老朽化によるリスクを管理し、補修・補強や更新整備の実施時期を最適化して、施設の長寿命化を図ることが必要です。

政策目標

- 国営造成施設の機能診断の実施率 10割（平成32年度）
- 老朽化や災害リスクに対応した農業水利施設の戦略的な保全管理と機能強化

<主な内容>

1. 広域基盤整備計画調査

535（429）百万円

複数の国営土地改良事業地区を有する優良な広域の農業地域において、地域の現状分析を行い、基幹的農業水利施設に関する長寿命化に配慮した更新整備計画、水利用計画、環境・景観配慮基本方針等で構成される「広域基盤整備計画」を策定します。

2. 農業基盤整備管理調査

(1) 広域農業基盤整備管理調査

489（419）百万円

地域の農業基盤に関する情報収集、国営事業等完了地区における課題の把握及び対策手法の検討を行います。

(2) 事後評価調査

116（115）百万円

事業完了後概ね5年を経過した国営事業等完了地区について、事業実施により生じた効用を評価するとともに、事後評価手法の検討等を行います。

〔 国費率：10／10
事業実施主体：国 〕

[お問い合わせ先：農村振興局設計課（03-3502-4167）]